

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
 花車ビル南館 〒450-0002  
 電話 052-581-1013  
 F A X 052-586-5680  
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
 Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店  
 普通口座731-677  
 発行人 中根生弥  
 編集人 武山純也

## No.438 目次

- ◆第36回愛臨技  
東三河地区研究会に参加して…………… (2)
- ◆地区だより…………… (2)
- ◆平成30年度日臨技 愛臨技主催  
多職種連携のための臨床検査技師能力  
開発講習会…………… (3)
- ◆第67回愛知県糖尿病療養指導研究会  
学術講演会…………… (4)
- ◆基礎講座・研究会…………… (4)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第55回) …………… (6)

## 医療法等の一部改正について

愛臨技監事 相山 広美

医療法等の一部を改正する法律が平成29年6月14日に公布され、医療機関が自ら実施する検体検査並びに衛生検査所やブランチラボに業務委託される検体検査の精度確保に関する基準を設け、適切に管理を行っていくことが、法律上明確に位置付けられました。医療技術が日々進歩する中で、それらの技術を活用し、患者様にとってよりよい医療を届けることが求められる中、日々の診療の中で行われている検体検査が、その品質・精度を確保することが非常に重要であることが明確になりました。厚生労働省は、検体検査の精度の水準を上げるため、現時点における必要かつ現実的な精度の確保の方法及び検体検査の分類について、多くの課題に取り組むため平成29年10月より「検体検査の精度管理等に関する検討会」を開催し、平成30年3月には検討会で取りまとめられた内容が発表されました。検討内容は①検体検査の分類の見直し②医療機関、歯科医療機関又は助産所が自ら実施する検体検査の精度の確保の方法③医療機関、歯科医療機関又は助産所からの業務委託における検体検査の精度の確保の方法④遺伝子関連検査・染色体検査の精度の確保の方法である。この検討では、現行の検体検査の一次分類において、遺伝子関連検査・染色体検査が含まれていないこと等現状の科学的な検体検査の分類と一致していない事項があり、二次分類においては、遺伝子関連検査が3分類にまたがっている等により新たに分類見直し案が出されました。また、精度の確保に係る責任者を配置する管理組織に係る基準案やブランチラボ、衛生検査所において作成が求められている標準作業書及び作業日誌のうち精度の確保のために必要と考えられるものは医療機関にも作成が必要である等でした。そして、平成30年7月27日厚生労働省令が公布されました(官報号外「第166号」)。この省令に沿って、12月の法律施行にむけ各医療機関で準備をすることになります。

日臨技において、この医療法等改正に伴う精度管理への対応として、精度管理責任者向け講習会等会員への支援が始まる予定です。

## 第36回 愛臨技東三河地区研究会に参加して

社会医療法人明陽会 成田記念病院 平松 慶一

7月8日(日)に、第36回愛臨技東三河地区研究会が成田記念病院大会議室にて開催されました。今回、当院が主催となり私は事務局長を努めさせていただきました。

当日は約170名の参加があり、一般演題12題の発表と公開講演が行われました。

一般演題では各施設での取り組みや貴重な症例が発表され、質疑応答では活発な討論が繰り広げられました。

また公開講演では、2018年4月に開院した成田陽子線センター院長 柳剛先生をお招きし、「次世代につながる陽子線治療」という演題で、X線と陽子線の違いなど基礎的な部分を含め、陽子線治療について大変分かりやすく講演して頂きました。陽子線治療の高い安全性・新しい根治的治療の提供・QOLを維持した治療・難治性癌への挑戦など、今後の陽子線治療の発展について学ぶことが出来ました。

今後も充実した研究会が開催され、他施設との交流を深める機会として積極的に参加したいと思います。最後になりますが、この研究会を開催するにあたりご尽力頂いた皆様はこの場を借りて感謝致します。



### 地区だより

#### 東三河地区

(医) 豊岡会 豊橋元町病院 柳瀬 彩音

皆さんは、豊橋市の新豊橋駅から田原市の三河田原駅までを結ぶ渥美線をご存じですか？

豊橋は路面電車の方が知られているかもしれませんが、渥美線も通勤通学など市民の足として利用されています。今回は私も利用する、この渥美線について紹介したいと思います。

渥美線は新豊橋駅～三河田原駅の全長18Kmを結ぶローカル線です。私が思う魅力の1つにカラフルにラッピングされた車両があります。これは渥美線カラフルトレインといって、豊橋・田原に咲く10種の花々(桜・つつじ・ばら・菊・菜の花・しでこぼし・椿・ひまわり・菖蒲・はまぼう)をテーマにして車両が飾り付けられています。カラフルにラッピングされた3両の車両が走る姿はかわいらしく、特に線路沿いに菜の花などが咲いているようなスポットでは、電車と花のコラボレーションがとても素敵だと思います。



また、サイクルトレインといって、渥美半島でサイクリングを楽しみたい方などが自転車を持ち込むことが出来たりもします。



車での移動は便利ですが、豊橋へ来たときはぜひ渥美線を利用してみてください。

---

# 平成30年度 日臨技 愛臨技主催

## 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会

---

国民の医療に対するニーズの多様化・複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へと、より患者の身近な検査業務が求められています。それには、他職種の業務等を学び、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することが必要です。このような内容を踏まえ、「多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会」を開催することになりましたので多数のご参加をお願いします。

【日 時】平成30年10月27日(土) 15:00～18:30 (14:30から受付)

平成30年10月28日(日) 9:00～17:30

【会 場】春日井市民病院 3階 講堂 (〒486-8510春日井市鷹来町1-1-1)

【募集人数】90名

【受講対象】本講習会開催までに検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を受講した者

【参加費】8000円

【昼 食】各自ご用意ください

【申し込み】平成30年9月1日～10月10日 日臨技ホームページより事前登録してください。

1週間以内に受領メールが届かない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【生涯教育】基礎：30点

【後 援】公益社団法人 愛知県医師会、一般社団法人 愛知県病院協会、公益社団法人 愛知県看護協会、一般社団法人 愛知県病院薬剤師会、一般社団法人 愛知県臨床工学技士会、公益社団法人 愛知県理学療法士会 (予定)

【問合せ先】愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫応答研究分野 鈴木博子

TEL: 052-762-6111 メールアドレス: hsuzuki@aichi-cc.jp

---

### 【プログラム】

10月27日(土)

14:30～15:00 受付開始

15:00～15:10 開講式

15:10～15:40 臨床検査技師が他職種業務を知る意義<ビデオ>

15:40～16:40 臨床検査技師が他職種業務を知る意義<講義>

16:40～18:10 【講義1】 知っておくべき薬理 講師：春日井市民病院 高橋由加利

10月28日(日)

8:30～9:00 受付開始

9:00～11:00 【講義2・実技】 知っておくべきベッドサイド機器管理

講師：藤田保健衛生大学病院 杉森 美幸

11:15～12:00 検体採取シミュレーション

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 【講義3・実技】 看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション

講師：春日井市民病院 佐藤めぐみ

15:15～17:15 【講義4・実技】 知っておくべき患者移送技術 講師：豊田厚生病院 佐藤 太亮

17:15～17:30 閉講式

## 第67回愛知県糖尿病療養 指導研究会学術講演会

テーマ：糖尿病性腎症と予防について  
日時：平成30年9月30（日）13：00～16：30  
場所：名古屋大学医学部附属病院  
医系1号館 地下1階会議室

一般講演（13：05～14：35）

1. 糖尿病性腎症重症化予防プログラム  
～行政の取り組み～  
碧南市役所 国保年金課 柴田 一雄
2. 糖尿病腎症の進行を食い止めよう  
～腎症3期の支援～  
岡崎市民病院 糖尿病センター認定看護師  
吉田 照美
3. 当院における糖尿病透析予防の取り組みについて  
豊田厚生病院 管理栄養士 脇坂 涼子

特別講演（14：50～16：20）

「糖尿病性腎症について」

講師：刈谷豊田総合病院 腎・膠原病内科 部長  
小山 勝志 先生

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、  
その他参加者1,000円

### 基礎講座

#### 遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成30年11月4日（日）10：00～16：00  
場所：中部大学名古屋キャンパス6F 610号室  
名古屋市中区千代田5-14-22  
JR中央本線鶴舞駅北口すぐ

テーマ：やってみよう！PCR&FISH

司会：愛知医科大学病院 山田 敦子

講演1：PCRによる遺伝子検出の導入と応用におけるポイント  
サーモフィッシャーサイエンティフィック  
ライフテクノロジーズジャパン株式会社  
白神 博

講演2：PCRの基礎から応用  
－出血性・血栓性疾患の遺伝子解析を例にして－  
名古屋大学医学部保健学科 田村 彰吾

講演3：ルーチン業務におけるPCR法の注意点と結果解釈について

国立長寿医療研究センター 伊藤 淳二  
司会：胎児生命科学センター 鈴木 翔太

講演4：FISHの基礎講座  
アボットジャパン株式会社 泉澤 康弘

講演5：FISH標本作製におけるポイント  
愛知医科大学病院 和田栄里子

司会：JA愛知厚生連 海南病院 山田 和佳  
実習：FISH画像の観察とPCRの体験（FISH画像は癌腫、リンパ腫など10症例予定、PCRの体験はPCR装置の注意点やサンプル注入を予定。）

※実習内容は一部変更する可能性があります。正式決定は研究班HPで10月中旬にUPしますので、そちらをご参照ください。

内容：PCR及びFISHの講義と実習を予定しています。PCRは、原理などの基礎から、ウイルスや細菌、FFPEなどのサンプルにおける注意点、実際に実験系を組み立てる手順などについて幅広く講義を行います。FISHも同様に、原理などの基礎を講義で、標本作製におけるポイントなどを講義と実習で行います。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

定員：40人（受付先着順）

参加費：愛臨技会員 2500円  
他県技師会員 3000円  
非会員 4000円

申込方法及び事前振り込み：日臨技HP 会員専用ページの「事前参加申し込み」よりお申込みください。申し込み後、1週間以内に受領メールが届かない場合や非会員の方は下記までお問い合わせください。参加費の事前振り込み先はHPにてご確認ください。

申込・振込期限：9月1日（土）～10月19日（金）

問合せ先：easypcr.fish@gmail.com  
052-832-1121（内線20744）  
名古屋第二赤十字病院 岩田 英紘

注意事項：申し込み完了後のキャンセルは返金が困難であるため、資料送付で返金なしとさせていただきます。また、会場の都合により当日の金銭の取扱いができないため、必ず事前振込をして頂くよう宜しくお願いします。

※昼食は各自用意してください。

## 研究会

一般検査・病理細胞検査研究班合同

専門教科：20点

日時：平成30年10月13日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学

医学部研究棟11階 講義室A

テーマ：体腔液検査の実際

講演 1：体腔液検査（細胞数算定・細胞分類）の  
用手法 碧南市民病院 包原 久志

講演 2：体腔液検査（細胞数算定・細胞分類）の  
機械法 豊橋市民病院 内田 一豊

講演 3：体腔液の細胞診～ギムザ染色を中心に～  
JA愛知厚生連豊田厚生病院

末武 祐介

講演 4：体腔液の病理検査 標本作製方法と応用  
名古屋第一赤十字病院 広瀬 美砂

司 会：JA愛知厚生連豊田厚生病院 鈴木 康太  
公立陶生病院 柚木 浩良

内 容：体腔液検査は様々な部門が関わる検査です。一般検査では、主に細胞数や細胞分類などにより滲出性・漏出性の判別が原疾患推定の補助となり、細胞検査では悪性細胞の有無が重要となります。

今回の研究会では、一般検査・病理細胞検査の垣根を越え、細胞分類方法や機器測定 of 解釈について、細胞形態の解説を講演頂き、日頃の業務に役立てて頂きたいと考えています。多数の参加お待ちしております。

2018年8月8日現在 正会員数 3,352名



# AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

## 通信 (第55回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物のうち、「細胞診アトラス」についてご紹介いたします。

これから細胞診を学ぶ初心者から経験を積んだベテランまで幅広く活用できるように細胞画像を多数取り入れて編集しました。日常業務のなかで多くの方に活用して頂けると幸いです。今回は、呼吸器シリーズ (良性・炎症) として“クルシュマン螺旋体”と“サイトメガロウイルス感染”を添付しました。今後、順次あらたなアトラスを作成していきますのでご期待ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

### クルシュマン螺旋体

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(5)

患者年齢 70歳代 性別 男性 検体種類: 喀痰  
臨床所見: 慢性気管支炎の疑い

【判定】 陰性

【細胞所見】

クルシュマン螺旋体は、中心部がヘマトキシリンにより暗紫色に濃染した螺旋状の糸状構造物と、濃縮した粘液が混じって喀痰中に排出されたものである (写真1~4)。

【細胞診断のポイント】

クルシュマン螺旋体の太さ、長さは様々であり、肉眼的に確認できるものまで喀出されることがある<sup>®</sup>。気管支喘息で見られることが多いが、肺癌 (写真3、4)、慢性気管支炎、肺結核、肺炎腫あるいは風邪でも見られ、疾患特異性はない。

【定義・概念】

クルシュマン螺旋体は、ドイツの内科医 Heinrich Gurschmann が命名した喀痰中に出現する糸状の物質である。クルシュマンの螺旋体の形成機序は、気管支粘液の分泌亢進により気管支内で貯留、停滞、濃縮した粘液が、気管支の呼吸運動や咳によって喀痰中に排出されることによるものである。その際、狭くなった気管支道を濃縮した粘液が口腔側へ排出される時に螺旋状を呈すると考えられている。

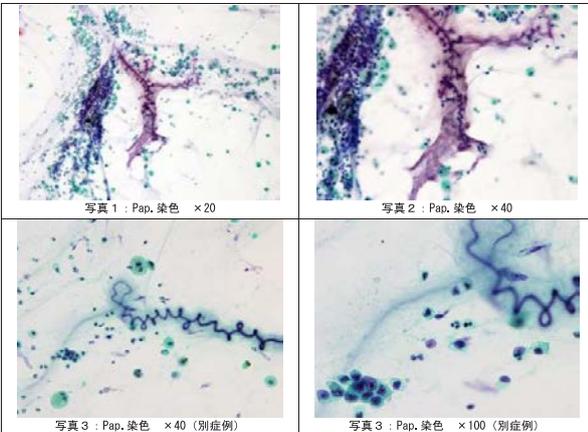


写真1 : Pap. 染色 ×20

写真2 : Pap. 染色 ×40

写真3 : Pap. 染色 ×40 (別症例)

写真4 : Pap. 染色 ×100 (別症例)

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

### サイトメガロウイルス感染

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(6)

患者年齢 20歳代 性別 女性 検体種類: 肺胞洗浄液  
臨床所見: 胸部異常陰影

【判定】 陰性

【細胞所見】

サイトメガロウイルス (cytomegalovirus : CMV) 感染細胞は、単核~二核の大型細胞で核内に好酸性の大きな核内封入体が見られる。核内封入体の周囲はスリガラス様で抜けて見える (「フクロウの目 (owl eye)」様といわれる) (写真1~4)。細胞質内にも封入体が見られるという報告もあるが、本症例でははっきりとしない。

【細胞診断のポイント】

CMV 感染細胞は単核~二核の特徴的な巨細胞封入体として観察される。単純ヘルペスウイルス (herpes simplex virus : HSV) 感染細胞で見られる多核化 (三核以上) やスリガラス様核、核の圧排像が見られることはまれである。「フクロウの目 (owl eye)」様の特徴的な核内封入体は、細胞の核内でウイルスが増殖した際に光学顕微鏡下で観察可能となる。このような特徴的な形態を示している場合は診断が容易であるが、変性した細胞や腺癌との鑑別が必要な場合もある。

【定義・概念】

CMV は DNA ウイルスであるヘルペスウイルス科に属し、学名を human herpesvirus type 5 : HHV-5 と称し、大型の DNA ウイルスであるヘルペスウイルスの中でもゲノムの大きさは最大級である。CMV は多くのヒトが不顕性感染の状態にあるが、免疫不全状態ではしばしば日和見感染を起こし、重篤な病態となることがまれではない<sup>®</sup>。

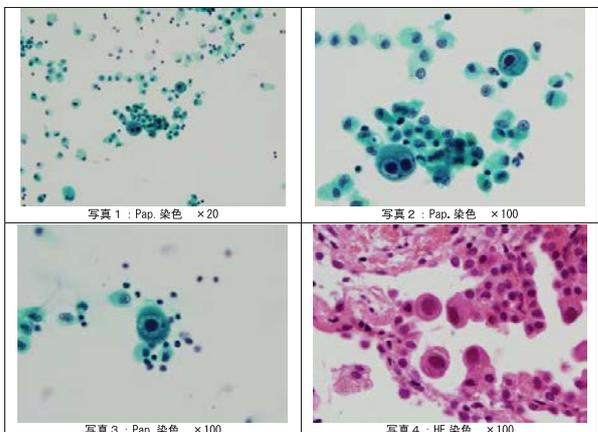


写真1 : Pap. 染色 ×20

写真2 : Pap. 染色 ×100

写真3 : Pap. 染色 ×100

写真4 : HE 染色 ×100

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization